

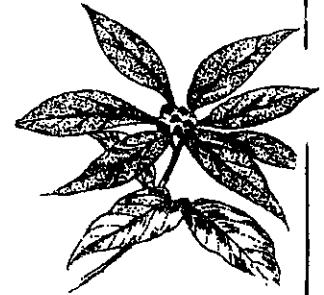
# けいあい

第 19 号

平成 20 年 12 月 22 日  
甲斐市立敷島中学校  
発行責任者 長田和人

## 今年も残りわずかに「2学期を振り返って」

慌ただしかった2学期も、もう数日を残すばかりとなりました。生徒会最大のイベント「年輪祭」で始まった2学期、頑張った行事だけに、心に残るたくさん思い出がつくれたことでしょう。本年度の生徒会のスローガン「みっくすじゅーす」を最も味わえたのが「年輪祭」であったと思います。文化部門での全校合唱、学年合唱、甲府支援学校との交流、吹奏楽の演奏。そして体育部門＝雨でヤキモキしましたが、総文体育館での長縄跳び、学級対抗リレー、全校女子集団演技、全校男子エッサッサ、ムカデ競争での友と力を合わせて協力した全ての種目、閉祭式での“火文字”、時の経つのも忘れ、頬を伝わるのも構わず流した涙は決して忘れないことでしょう。部活動も、殆どの部が3年生から1・2年生にバトンタッチされました。引っ張っていくことは難しく、後をついていくことは楽であると……。新人戦の結果も様々でしたが……「頑張りました！」



10月の終わりには「校内強歩大会」が実施されました。ゴールの時の“感動”や“充実感”も思い出のひとつまででしょう。11月19日には、県民文化ホールで“合唱祭”が行われました。短期間での取り組みではありましたが、各学年・学級が一生懸命努力し、素晴らしい合唱に仕上げました。講師をお願いした落合先生にも講評で褒めていただくことが出来ました。しかし、合唱祭が終わったとたん（期末テスト取り組み週間ということもありました）合唱が聞こえなくなった様に思いますが私の気のせいでしょうか。（寂しいですネ！）3年生は9月から進路に向けて、本格的な活動が始まりました。高校の入試制度が大きく変わったために、教師も生徒も保護者の皆様も大変だと思います。校長会テスト（教育課程到達度確認検査）、高校説明会、二者懇談、三者懇談等、厳しい学期でした。暦もとうとう最後の1枚になり、一年の終わりをひしひしと感じさせますが、今学校では長かった二学期のまとめを、生徒とともに学習、生活両面にわたってしているところです。特に、12月16日から4日間に渡って行われた三者懇談では、短い時間ではありましたが、生徒一人ひとりについて、保護者の皆さんと学級担任とで、学校での様子やご家庭での様子についての話し合いをしていただきました。良いところは誉めていただき、改めてほしいところはよく話し合い、これからの「生活」にいかしていった欲しいと思います。

昨日が「冬至」(21日)だったわけですが、「冬至、冬なか冬はじめ」といって、「冬も半分が過ぎましたが、厳しい寒さはこれからですよ」という意味の“言葉”があります。まだまだ寒さはこれからなのです。

「校長室から見える木々もすっかり葉を落とし、眠りに入っているように見えますが、来たるべき“春”に備えて、小さな芽を守って冬を越そうとしております。皆さん方も“新しい年(春)”を迎えるために、元気で過ごしてほしいと思います。」

素晴らしい生徒や保護者の皆さん、地域の方々に支えられ、快適な学校生活を送ることが出来たことをご報告申し上げますと共に、何かにつけてご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

「2009年が、生徒・保護者の皆さん、敷島中学校にとって  
躍進できる年になるように、力を合わせて頑張っていきましょう！」  
よいお年をお迎え下さい！！



## H 2 1 生徒会役員を決める生徒会役員選挙が行われました！



来年度の敷島中学校をしょって立つ、生徒会の役員を決める大事な選挙が行われました。立候補した1・2年生は、寒さにも負けず生徒たちに支持を呼びかけ、11月12日(水)の立ち合い演説会で、自分の考えを熱く語りました。その後行われた投・開票において、2年の長田留衣君が、来年度敷島中学校の生徒会長に、2年渡邊聖司君と千野早恵子さん、1年の本間努君が副会長にとそれぞれ当選しました。新会長・副会長には、12月10日(水)の後期生徒総会の席で当選証と任命証が渡されました。生徒会の正式なバトンタッチも当日行われましたが、現生徒会の本部役員には、『よく頑張りました』の言葉と大きな『拍手』を送りたいと思います。そして、新生徒会本部役員の方には、『がんばり』と『努力』を期待したいと思います。

H21の敷島中を背負う生徒会の本部役員です！



- ◎ 生徒会 長 長田 留衣 (2年)
  - 副会長 渡邊聖司 (2年), 千野早恵子 (2年), 本間 努 (1年)
  - 議長 小林俊介 (2年), 川崎麻子 (2年), 齋 荻野 優 (1年)
  - 書記 松田麻里 (2年), 大村優果 (2年), 齋 栗林綾園 (1年)
  - 文化局局長 加藤未来 (2年), 局員 田草川琴絵 (2年), 山口直也 (1年)
  - 体育局局长 河端大将 (2年), 局員 小林 希 (2年), 清水 壮 (1年)
  - 専門局局长 横山 新 (2年), 局員 末廣直哉 (2年), 保坂康介 (1年)
- 期待しています！ 頑張ってください！

頑張った敷島中の生徒たち！



- ◎ 剣道部 11月8日 (土) 小瀬スポーツ公園武道場 by 雨宮
- 男子団体 1回戦 対都留一中 2-2 (代表者戦により勝ち), 2回戦 対韮崎東中 3-2 (負け)
- 男子個人 小野智也 (初戦敗退), 長田敦志 (初戦敗退)
- 女子個人 窪田千香 (四回戦ベスト16), 井上さやか (四回戦ベスト16)
- ◇ 男子は団体戦5人中4人しかいない中での試合でした。中巨摩新人戦より気持ちが前に出た試合ができました。冬場の稽古を積んで、更に1本を大切にできるようになって欲しいと思います。
- ◆ 女子は団体が組めず個人戦のみの出場でしたが、2人ともベスト8決めの試合で県の決勝戦を戦った選手にそれぞれ負けてしまいました。着実に力をつけているので、来年は部員を増やして、是非団体戦に出場したいと思います。

◎ 第20回山梨県中学校英語暗唱大会 11月18日 (火) 笛吹市スコレーセンター  
 本校3年の武川明日香さんは、中巨摩地区英語暗唱大会で第2位の成績をおさめ、この大会に出場し、山梨県各地区の代表12名による激戦の中、第2位の栄誉に輝きました。  
 今年度より3年生の暗唱文が変わり、6000人のユダヤ人の命を救い日本のシンドラマーと言われた杉原千敏氏の話になりました。1940年リトアニアで外交官として働いていた杉原氏の元ヘナチスの迫害から逃れてきたユダヤ人たちが押し寄せて来ました。日本を經由して外国へ行くことを望みパスポートの発行を求めて…。杉原氏は日本政府から発行を許されず、苦悩の末、ついに良心に従い発行を決断し6000人のユダヤ人の命を救いました。  
 武川さんは、この杉原氏の苦悩、そして決断を見事に表現し、聴衆を魅了する素晴らしい発表を披露しました。武川さんは課題を深く理解し、その内容を見事に表現した結果、山梨県中学校英語暗唱大会第2位という栄誉を手に入れました。 by 高橋 (由)

- ◎ JA 共済書道コンクール (半紙の部佳作)
- (1-5) 上山 葵 (1-6) 長田美波 (1-6) 遠藤沙希 (2-1) 加藤未来
- (2-2) 小田切美希 (2-3) 永田有紗 (3-1) 清水優也 (3-2) 小宮山文香

- ◎ 第32回 山梨県アンサンブルコンテストで“第14回西関東アンサンブルコンテスト”出場の栄誉を勝ち取りました！ 「おめでとう！」

12月14日 (日)、今年度山梨県吹奏楽連盟主催行事の最後を飾る“第32回山梨県アンサンブルコンテスト”が、「中学生の部」で県下70組が参加をして県民文化ホールで開催されました。本校の吹奏楽部は、昨年度まで「全国アンサンブルコンテスト」で3年連続出場という偉業を達成し、昨年度は西関東コンテストに招待演奏という形で参加いたしましたが、今年度は「3年間連続出場という足かせ」もとれ、混成八重奏と金管八重奏との2組がコンテストに出場、堂々の演奏を披露しました。その結果、参加した全組中、混成八重奏が第1位、金管八重奏が第2位という素晴らしい評価を得て、山梨県の代表として来年の1月17日 (土) に埼玉県所沢市で行われる“第14回西関東アンサンブルコンテスト”に出場することが決まりました。また、この大会で良い成績を残すと3月20日 (祝・金) に富山県で行われる“第32回 全日本アンサンブルコンテスト”に出場出来ることとなります。 「最後まで全力を尽くし頑張ってください!!!」

☆混成八重奏

- Fl 長田愛美 Ob 飯沼穂那美 Cl. 1 武川明日香 Cl. 2 中田万智子
- A. Sax 加藤未来 T. Sax 松田麻里 B. Sax 神澤晃季 Cb 井上奈那

☆金管八重奏

- Tp.1 河野 静 Tp.1 今村祐香 Tb.1 古川 萌 Tb.2 篠原礼哉
- Tp.3 西村奈々 Hr.1 小尾麻里子 Hr.1 一条彩絵 Tub 槌屋 真

